

## 引率者から見た台湾の 地理オリンピックとGIS



地理教育学会2月例会  
(2008.2.16 日本女子大学)  
伊藤 智章(静岡県立吉原高校)

## 本日の発表

1. 台湾における地理オリンピック
2. 台湾の地理教育における  
GISの取り扱い
3. まとめ  
台湾に学ぶ地理教育活性策  
(今後の大会運営への提案を含めて)

## 1. 台湾における 地理オリンピック



©地理オリンピック倶楽部 <http://www.wretch.cc/user/GeogOlympiad>

## 「中華民國 高中地理科奧林匹亞競賽」 (2002~)



## 参加者数



- ・第1回(2002年) 141チーム(423名)
- ・第2回(2003年) 94チーム(282名)
- ・第3回(2004年) 118チーム(354名)
- ・第4回(2005年) 79チーム(237名)
- ・第5回(2006年) 85チーム(255名)
- ・第6回(2007年) 115チーム(345名)

「**地理の祭典**」としてほぼ定着

## 競技方法



[1次審査]

**個別学力試験(50%)**

**チームのポスターセッション審査(50%)**

[2次審査]

筆記試験・レポート審査・**フィールドワーク試験**

【代表選考会】各年度の上位10選手を対象に  
試験を実施(選抜方法は年によって異なる)



日本との違い

- ・ レポート・ポスターセッションによる審査  
「ポスター部門」として別個に表彰する。
- ・ 3段階の選抜  
(一旦、国内で順位をつけた上で改めて候補を選抜する)
- ・ 指導教員も表彰対象(最終選抜では台北への交通費を支給)



## 台湾のGIS教育の現状

政府・大学による強いリーダーシップ

- ・国立台湾師範大学
- ・国立台湾大学

・教育部地理学科中心

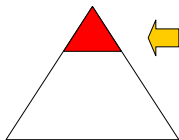
(国立台中女子高級中学内)

トップダウン型の普及スタイル

- ・各地に指導の**拠点校**と
- ・**「種子教師」**を教育部が任命
- ・大学の教員養成にGISが必須



拠点校に資源を集中投入



(インフラ・指導者)

GISの活用に熱心な学校(教師)と、  
充実した設備

指導者の裾野を広げる

GISを使った地図の発表機会が豊富

国際地理オリンピック予選

(2002年～) 3人1組)でポスター



GISによる「全国地図コンテスト」

(2005年～)個人でプレゼン

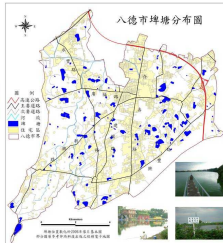
教師の「実践発表の部」も

### 職業校の部

2007年 特優

#### 埤塘風華

以桃園縣八德市為例



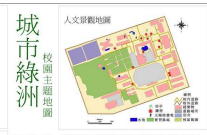
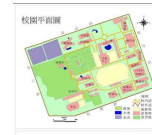
桃園縣 八德市における「埤塘」(ため池)の分布

林志軒(國立桃園高級農工職業學校)

<http://www.gisedu.geog.ntu.edu.tw>

### 職業校の部

2007年 優等



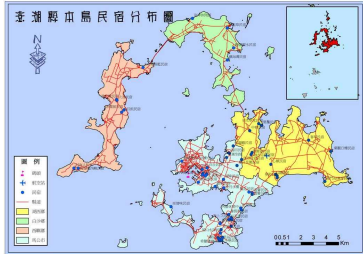
校內敷地の環境について

王人慶・許哲維・郭佳欣(國立桃園高級農工職業學校)

<http://www.gisedu.geog.ntu.edu.tw>

職業校の部

2007年 佳作



澎湖県の観光民宿分布図

潘皓智・楊登祺 (澎湖海軍水產職業學校)  
<http://www.gisedu.geog.ntu.edu.tw/>

高級中学の部

2007年 特優

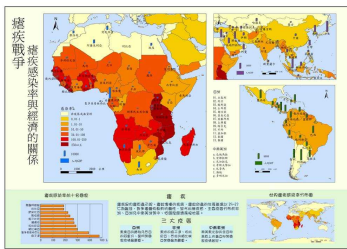


「知識經濟指數」による世界区分

張和諭・顧銘儀 (臺中高級女子中學)  
<http://www.gisedu.geog.ntu.edu.tw/>

高級中学の部

2007年 特優



疾病および戦争が世界経済に与える影響について

張和諭・顧銘儀 (臺中高級女子中學)  
<http://www.gisedu.geog.ntu.edu.tw/>

4. 考察

台湾における  
 「地理オリンピック」  
 成功の背景は何か？



栄誉を重んじる国民性(?)

校内に「優秀生徒」を顔写真入り貼り出す  
 Webサイトにも、下位まで個人名が掲載  
 指導教員もランク付けして掲載  
 (何人の代表を出したか等)

第一名	陳冠儀	國立政治大學附屬高級中學A
第二名	劉紹傑	國立台中第一高級中學A
第三名	范漢引	國立新竹女子高級中學A
	吳育崑	國立桃園高級中學
	張耀中	國立台中第二高級中學
	郭建祥	國立基隆女子高級中學A
優勝	陳一佳	台南市私立瀨海高級中學
	鍾俊偉	台南市私立瀨海高級中學
	曹勤廷	台南市私立長榮中學A



戦略意識と重点化政策

国家戦略としての科学教育  
 国際的に活躍する人材の育成



大陸中国を強く意識  
 地元のIT企業の強い支援

**生徒の活動を前面に出した  
競技運営**



「絵になる」  
大会の演出

**ジュニア大会との運営一体化**



**「全国地理大競賽」(2005~)**  
小中学生を対象とした大会  
台湾全土の400校以上の学校代表が参加



**知識中心の  
学力コンクール  
(小中学生・個人戦)**



↓

**思考力・資料活用能力  
表現力を競う大会  
(高校生・団体戦)**



**GISと地理オリンピックの有機的結合**

生徒

全国コンテストや  
地理オリンピック予選に出る

↑ ↓

表現し  
勝ち上がる為のツール

GISを使って地図を描き、考える

教師

生徒が地理オリンピック予選に出る

↑ ↓

教育を充実させ  
交流を深めるためのツール

GISを使った指導法を学ぶチャンス  
予算を獲得するチャンス

**4.まとめ**

(1)台湾の地理教育の印象

**地理教育を盛り上げる装置としての  
地理オリンピックとGIS**



地理教育を盛り上げる「装置」とは？

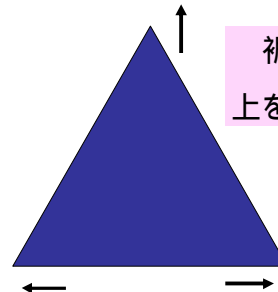
GIS教育の推進政策と潤沢な予算

拠点校・種子教員制度と豊富な研修機会

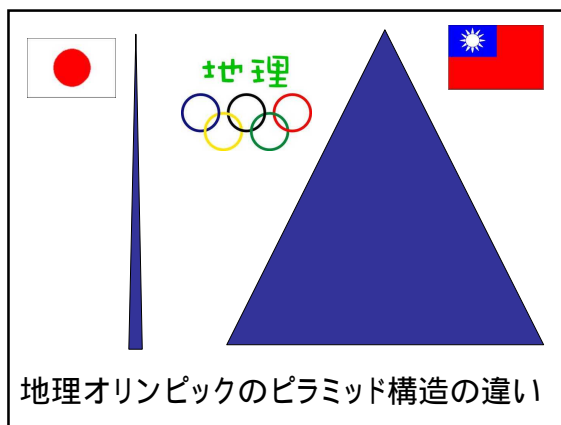
全国コンクールの充実

積極的かつ効果的な広報戦略

## (2) 台湾に学ぶ地理教育振興策



裾野を広げ  
上を引っ張る仕組み



地理オリンピックのピラミッド構造の違い

## 徹底した情報公開と「絵になる」演出

過去問題  
競技規則  
受賞者  
話題提供



学会の  
プロデュース力

記者会見

## 熱意ある教師陣の組織化



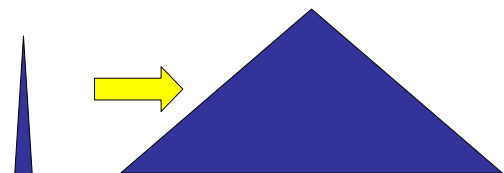
地理必修を守れ！  
という危機感

活発な人的交流

女性の活躍

## (3) 日本の地理教育の課題

地理の学習者の裾野を広げ、  
世界に通用する人材を育成する。



#### 4. 提案

台湾型の  
「地理オリンピック予選」を  
日本で試してみようか？



#### 「台湾型予選」 私案

1次試験(学科)「第14回地理能力検定」  
の受検(今年は**11月20日**全国で実施)

選抜者を対象に、実行委員会による「トレセン」  
(各地方毎。フィールドワーク、GIS、語学など)

最終選考  
論述・ポスターセッション・フィールドワーク試験

#### 「台湾型予選」のメリット

- 「地理検定」  
…たとえ予選に漏れても手元に「資格」は残る。  
過去問が出版され、「**独学**」がしやすい。
- 「トレセン」  
…国際標準の地理の学力評価を生徒・教員に  
浸透させる。目的意識を持ったGIS研修ができる。
- 「最終選考」  
…展示や生徒の活動を前面に出すことで話題性  
世界を意識して対策した選手による切磋琢磨。

#### なぜ少ない？日本の応募者

- 予選に出ることにより得られるメリットが少ない  
**どうせ代表になんてなれない。**
  - 「カリキュラムに地理がない」学校が急増中  
(特に、地方の進学校の文系)  
**地理が好きでも履修していないから無理。**
- 高校2年次に地理を履修する学校が多い。  
**高3の夏に海外旅行なんて無理。**

#### 入り口と出口の保証

- U-17世代(中3～高1)が受けやすい環境
- 独学(教師の支援による自主学習)を支える。

高校1年の春に初挑戦  
高校2年の春にリベンジ

代表生徒を関連学科のAO入試等  
で評価する(台湾は優先入学)

#### 「台湾型予選」 私案

#### 「ジュニア大会」の創設

一般の人(特に保護者)のイメージ「**地理好き = 暗記**」

知識を重視した大会

OB達は  
高校生大会に進むはず。



## National Geographic World Championship

隔年(奇数年)に実施  
12歳~16歳(中学生年代)  
対象。

メキシコ・台湾・オーストラリア  
は地理オリンピックと平行して実施



中学入試が盛んでレベルが高い  
日本で予選を行えば、高校生  
以上の反響があるのでは？



オリンピックは台湾に学べ！